

桃井第一小学校

夢をかなえる 桃一図書館

今の学校図書館

本校は、「学び合い、ちがいを認め、社会の創り手として共に生きる心豊かな子の育成」を目指している。

そこで、学校図書館では、将来社会の創り手となる未来を見据え「夢をかなえる図書館」をキャッチフレーズに「夢の入口は好きなこと、知りたいこと。夢の種を育てましょう。」と呼びかけ、知的好奇心や感受性を育てるため読書や情報活用の推進に取り組んでいる。

学校図書館の運営

- ・校長を館長とし、図書館部に教員が3名（情報活用のサポートのため、ICT担当として高学年担任1名含む）学校司書1名で構成する。
- ・学校図書館活用年間計画に沿って運営する。
- ・図書館部で読書カードを作成する。
- ・学校図書館利用予定表を毎週配布する。
- ・学校日より、図書館日よりで情報を発信する
- ・公共図書館と連携し、学習資料を取り揃える。

1年間の主な活動

- ・読書旬間を前期6月後期2月に実施する。
- ・図書委員会でおすすめの本のポップを作成して掲示、本探しを企画運営、読み聞かせなど、児童発案のイベントを実施する。
- ・「コラボ給食」を年3回、食育の観点から栄養士と司書で連携して実施する。
- ・学年別推薦図書「読んでみよう」完読者に賞状と「もう1冊借りられる」しおりを館長から贈呈する。
- ・タブレットにデータベースを導入する。
「朝日小学生新聞デジタル for school」
「sagasokka!」を調べ学習で活用する。



特色ある取組

校長先生の本棚

- ・朝会で校長がおすすめの本を紹介する。
- ・カウンター後ろに設置し、児童が興味をもって読んでいる。



桃一図書館ギャラリー

- ・図書館内や廊下の壁面は、全校児童の目に触れる芸術的なギャラリーとして活用されている。
- ・2年生のスイミーに関連し「ぼくもわたしもレオ＝レオニ」の学級製作物を壁面に掲示する。
- ・4年生「事実に基づいて書かれた本を読もう」で作成したポップや本の帯を展示する。

読み聞かせ&図書ボランティア

- ・定期的におはなし会を開催する。
- ・校長室前、図書館前に掲示コーナーを設置する。本に親しめる季節の掲示を月に1回作成する。
- ・「お話の船」というワークを通じて、学校図書館で2つのボランティアの交流会を開く。



これからの学校図書館

読書+探究学習の充実

学校図書館を情報センター、学習センター、読書センターとして活用していくため、さらにデータベースの活用や調べ学習用図書資料の充実をはかりたい。